

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）I・猪苗代湖（南岸）J）

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
J-1	○	○	○	○	○	○

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質				底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	R1.6.8	12:15	12:40	18.3	18.1	砂	7.5Y 6/3	ｼﾝﾞﾞ属	4.3	>4.3	
J-1 (下層)						18.1							

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	R1.6.8	12:15	6.8	<0.5	1.4	9.9	11.8	0.06	0.6	<1	0.6	N.D. (0.0014)	0.0054	—
J-1 (下層)					6.8	0.6	1.7	9.9	11.9	0.06	0.8	2	0.8	N.D. (0.0016)	0.0065	0.00094

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
J-1	37.4203°	140.1008°	R1.6.8	12:40	6.6	389	26.8	0.8	1.5	2.791	0.3	0.9	72.3	25.0	1.5		0.31	9.5	0.26	4.6	N.D. (0.13)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137			
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R1.7.2	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	6	1.9	成魚	不明消化物	内臓除去	24.3	2.3	22	0.49		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	1	1.6	成魚	不明消化物	内臓除去	24.2	1.2	23	0.59		
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	ニジマス	1	0.95	成魚	ｽｼﾞ`エﾋ`	内臓除去	19.8	1.8	18	0.13		
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾀｲﾝﾄﾞｼﾞ`ﾖウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	2	1.9	未成魚	ｽｼﾞ`エﾋ`	内臓除去	17.94	0.94	17	0.41		
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1.2	成魚	ｶﾈ`類、魚類	内臓除去	11.63	0.63	11	0.20		
				R1.6.8	粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.25	—	—	18.5	1.5	17	—			
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R1.6.8	藻類・植物	—	—	—	—	—	—	—	0.0087	—	—	—	N.D.	N.D. (3.6)	N.D. (3.2)	—	
					藻類・植物	双子葉植物	ｽｲﾚﾝ	ｽｲﾚﾝ	<i>Nuphar japonicum</i>	コウホネ	—	0.32	—	—	—	—	—	0.45	N.D. (0.30)	0.45	—
					藻類・植物	双子葉植物	ｽｽ	ﾐﾂｶﾞｼｼ	<i>Nymphoides peltata</i>	アサザ	—	0.33	—	—	—	—	—	0.78	N.D. (0.27)	0.78	—
					節足動物	昆虫	ﾄﾝﾎﾞ	ｱﾈｷﾞﾅﾏ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	9	0.013	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	—	2.8	N.D. (2.6)	2.8	—
					節足動物	軟甲	エﾋ`	ﾃﾞｶｶﾞ`エﾋ`	<i>Palaeon paucidens</i>	スジエビ	1768	1.3	成体	—	—	—	—	8.02	0.42	7.6	0.67
					軟体動物	腹足	原始紐舌	ﾀﾞﾆｼ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	オオタニシ	28	0.18	未成体/成体	—	—	—	—	4.1	N.D. (0.47)	4.1	—
					軟体動物	腹足	原始紐舌	ﾀﾞﾆｼ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	マルタニシ	9	0.018	未成体/成体	—	—	—	—	7.8	N.D. (2.8)	7.8	—
					軟体動物	腹足	盤足目	ｶﾘﾆﾅ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.0097	成体	—	—	—	—	N.D.	N.D. (4.6)	N.D. (3.7)	—
				R1.7.2	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.037	未成魚	—	—	—	—	11	N.D. (1.4)	11	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	13	0.18	未成魚	—	—	—	—	6.2	N.D. (0.45)	6.2	—
				R1.6.8	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	61	0.013	未成魚	—	—	—	—	5.8	N.D. (4.2)	5.8	—
				R1.7.2	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	30	2.3	成魚	不明消化物	内臓除去	25.6	1.6	24	0.42		
				R1.6.8	脊椎動物	硬骨魚	コイ	ﾄﾞｼﾞ`ﾖウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	48	0.10	未成魚/成魚	—	—	—	—	1.1	N.D. (0.59)	1.1	—
				R1.7.2	脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ｷﾝﾌﾞｲｯｼﾞ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	6	1.7	未成魚/成魚	ｽｼﾞ`エﾋ`	内臓除去	33.1	2.1	31	0.42		
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ｷﾝﾌﾞｲｯｼﾞ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	3	0.076	未成魚	エﾋ`類	内臓除去	7.5	N.D. (0.85)	7.5	—		
				R1.6.8	脊椎動物	両生	無尾	ﾌﾞｶﾞ`エル	<i>Rana japonica</i>	ニホンアマガエル	19	0.22	成体	—	—	—	—	2.5	N.D. (0.50)	2.5	—
					脊椎動物	両生	無尾	ﾌﾞｶﾞ`エル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル											
脊椎動物	両生	有尾	ｲﾓﾘ		<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	成体	—	—	—			—	—	1.5	N.D. (1.6)	1.5	—			

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名で下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。